

上小岩親水緑道・ビオトープ

上小岩親水緑道は用水路を通ってきた自然水をじゅんかんさせていて、水がきれいなので他ではなかなか見られない水生こん虫が見られます。また河川敷のビオトープでも多くの水生生物やこん虫が見られます。

ドジョウ

出会い度：★★★★★

水の底のどろの中にすみ、口先に付いているヒゲでエサをさがし、どろごとすって食べます。

コミズムシ

出会い度：★★★★★

学校のプールや池などでよく見かけられます。羽があるので、水がきたなくなるといなくなってしまうです。



ニホンアマガエル

出会い度：★★★★★

体の色は、はい色や黒っぽいものなど、いろいろなしゅるいがある3cmほどの小さいカエルです。



アメンボ

出会い度：★★★★★

水たまりなどでよく見られます。木から落ちた虫などに集まって、はりのような口をつきさして食事をします。

ザリガニ (アメリカザリガニ)

出会い度：★★★★★

「ウシガエル」のエサとして北アメリカから輸入されました。メダカを食べることがあるので、むやみにはなしてはいけません。

サカマキガイ

出会い度：★★★★★

「モノアラガイ」とにっていますが、ちがいは、巻き方が反対であることです。

ニホンアカガエル

出会い度：★★★★★

2月ごろ、水中にかたままり状のたまごをうみます。オタマジャクシの時は植物プランクトンをおもに食べます。



コカゲロウのなかま

出会い度：★★★★★

カゲロウ類の多くは水中で生活し、羽化したあととは命が短いです。

あらかわ さがん かせんしき じんこういけ
(荒川左岸河川敷の人工池)

ビオトープ...自然の生き物がふえるよう、人の手によってつくられた池や緑地

ヨシノボリ

出会い度：★★★★★

このなかまは淡水だけにすむもの、海と行ったりきたりするものなど、しゅるいもいろいろです。



ギンヤンマのヤゴ

出会い度：★★★★★

肉食でとてもどうもう。ミミズなどのエサがなくなると仲間を食べます。



ミズムシ

出会い度：★★★★★

水のながれるゆるやかな川底のかれ葉の下などにくらしています。よごれたところでよく見かけます。

シマトビゲラのなかま

出会い度：★★★★★

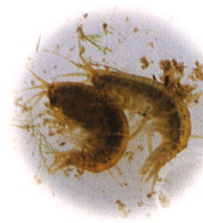
淡水の川底や小石、かれ葉などがある所で見るすることができます。



ヨコエビのなかま

出会い度：★★★★★

ヨコエビ類は海から川の上流までいろいろなところにすんでいて、しゅるいもふくざつです。



ハイロゲンゴロウ

出会い度：★★★★★

学校のプールなどにたくさんすみつきます。水がきたなくなると、よそにとんでいきます。



イトトンボのヤゴ

出会い度：★★★★★

区内でよく見られるのはアジイトトンボとアオモンイトトンボ。植物がしげる水辺に多くいます。



ギンブナ

出会い度：★★★★★

関東地方にはメスしかいないとされます。ほかのコイ科の精子のしげきで発生するが、ちゃんと「ギンブナ」として生まれるナゾの魚。

調べてみよう

ビオトープの水がかわってしまった時は生き物たちはどこへいくの？

